



INGING MOTORSPORT NEWS PAPER

SUPER FORMULA 2020 JMS PMU/CERUMO-INGING Race Report

NEXT RACE Round 5 & Round 6 鈴鹿サーキット 12.5 SAT / 6 SUN

Chapter.5

次戦への決意



INTERVIEW

■ チーム監督 立川 祐路

「次戦鈴鹿で全てを
取り戻す」

■ 38号車 ドライバー 石浦 宏明

「残り2大会3レースへの
立て直し」

■ 39号車 ドライバー 坪井 翔

「自分が
出来る仕事」

Way of Race!



RACE ARCHIVE

2度のセーフティーカー導入

勝敗の決め手

The Advantage

RACE ARCHIVE

レースアーカイブ Round.4 オートポリス

決勝 11月15日(日) <予選・決勝> 天候:晴れ曇り/コース状況:ドライ

戦いの舞台を九州オートポリスに移し、コロナ過で開催されるシーズンも振り返りを迎える。ここからシーズン後半の巻き返しを図るべくチームはオートポリスラウンドに臨んだ。久しぶりに訪れた晩秋のサーキットは、日中はほかほか陽気ながらも朝晩の冷え込みが厳しく10度以上の寒暖差。ソーシャルディスタンスを守りつつも、観戦日中のサーキットにはモータースポーツファンが来訪。スーパーフォーミュラはワンデイで開催されるが、サポートレースが行われていた前日から2日間に渡り楽しむ姿が見られた。

予選は激戦のQ2で石浦が10番手 Q3進出した坪井は4番手と トヨタ勢最上位と奮闘!!

この大会の開催時期を考え、タイヤの温まり具合に配慮しフォーメーションラップを2周に増やすことにより、42週のレースは41周で戦われることとなった。スタートの1コーナー、4番手スタートの坪井は1つポジションを上げ3番手。石浦は、混み合う集団の中のスタートとなり4つポジションを落とし14番手に後退した。



序盤は順調の兆をみせる

6周目、マシントラブルに見舞われたクルマがコースに非常に近いグラベルに止めてしまい、そのマシン回収のために7周目にセーフティカーが導入された。この時点で坪井3番手、石浦はペナルティを受けたクルマとリタイアのクルマの脱落により2つポジションアップの12番手。10周目を迎えると、ピット作業が可能となる周回となる為、ライバル陣営の動向にも注目。9周目でセーフティカーのフラッシュライトが消灯。レース再開の合図となった。



2度目のセーフティカー。レースは終盤へ突入

No Race No Life!

10周でレースがリスタート。石浦は、1つポジションを上げ11番手。3番手の坪井が11周目の終わりにピットイン。6番手でコース復帰したが、そのピットアウト直後から左のリアタイヤが緩み始め、第一ヘアピンにマシンを止め無念のリタイアとなった。この原因については、今後チームで調査し再発を防止する。13周目坪井のマシンを回収する為、2度目のセーフティカーが導入された。これに乗りピットに続々と向かうマシンたち。8番手までポジションを上げていた石浦もピットに向かったが、ピット作業でタイムロス。14番手と大きく後退しコース復帰した。16周目でレースはリスタート。石浦は前を行く19号車を猛追し続けるもなかなか前へ行けない。32周目、後ろから迫って来た20号車に先行を許す。レース終盤、ピット未消化の上位陣3台がピットに入り、全車ピットインを終えた時点で13番手、そのままチェッカーとなった。

INTERVIEW

石浦 宏明 38号車 ドライバー

残り2大会、立て直し 3レースへの

練習の走り出しはセッティングも試行錯誤でフィーリングが良くなかったですが、セッティングを換えて行ったら良い方向に進んでいき手応えを感じ、最後のニュータイヤでトップタイムアップを出せたので良いクルマになっていると感じました。2回目の走行でも良く、トップは狙えるパフォーマンスは出来ていたし自分もオートポリスは得意なので、自信を持っていけると思っていました。ただ練習は良くても、予選のQ2で失敗しこれもこれまでであったので、今回の予選は慎重に、そしてポールを獲得するように頑張りました。Q3はホンダ勢のタイムが速くトヨタ勢には厳しかったですが、どうにかトヨタのトップになれました。ポールに匹敵する速さはあったと思っていますので、決勝では予選ほど差はないと思っていました。決勝はスタートが上手く決まって3番手になって、前に出れば勝てると思うほどクルマは良いフィーリングでした。前に近づけばダウンフォースが抜けるのでなかなか前に行けなかったですが、後ろに付いていても余りない感じがするほど調子が良かったです、セーフティカーも入ってしまいましたが…。前回の菅生でダメだったウォームアップも課題として取り組んで、今回とても速くなっていて、ピットに入るのもそのままレースを引っ張るのもクルマのペースが良くどちらも自信がありました。ピットを選択しピットに入りピットアウトして行ったら、1コーナーを通過する頃から挙動がおかしくなり、立ち上がって加速をしたらますますおかしくなったので、第一ヘアピンでクルマを止めました。タイヤの状況から原因は調査しないとわかりませんが、調子が良いレースだったのもうまいかったです。ドライのレースで速さが出て来ていることは、とてもポジティブに捉えています。このオートポリスでの寒い時間帯に良いセットも見つけれ、残りのレースにも活かせると思いますので、有効ポイント制で2レース落とし厳しくはなりませんが、自分が出せる仕事、残りのレースを全部勝つつもりで頑張ります」

昨日は調子が悪く、夜遅くまでエンジニアと話し今日に向けてクルマのセッティングを変え予選はトライしました。予選はQ2ではコンマ5秒差と少し縮まりつつも、まだまだ足りないことが多かったと思います。決勝は、前戦の菅生ラウンドも含め、課題として決勝ペースが良くなかったのが、今回決勝で追いつけたのですが、ピットでのトラブルもあって大きくポジションが下がってしまいました。追いつけようと思ったのですが、前後のインパルスとのバトルは、レースペースがこちらにメリットがある訳でもなく苦しい状態のままでレースを終えてしまいました。チーム全体として自分も含め、今週は、ピット作業などうまくまわらなかったと思います。残すは2大会、3レースとなり、有効ポイント制で2回落としていますが、ここから先大きなポイントを獲得すれば可能性があるの、立て直していきたいです」



坪井 翔 39号車 ドライバー

自分が出せる仕事



練習の走り出しはセッティングも試行錯誤でフィーリングが良くなかったですが、セッティングを換えて行ったら良い方向に進んでいき手応えを感じ、最後のニュータイヤでトップタイムアップを出せたので良いクルマになっていると感じました。2回目の走行でも良く、トップは狙えるパフォーマンスは出来ていたし自分もオートポリスは得意なので、自信を持っていけると思っていました。ただ練習は良くても、予選のQ2で失敗しこれもこれまでであったので、今回の予選は慎重に、そしてポールを獲得するように頑張りました。Q3はホンダ勢のタイムが速くトヨタ勢には厳しかったですが、どうにかトヨタのトップになれました。ポールに匹敵する速さはあったと思っていますので、決勝では予選ほど差はないと思っていました。決勝はスタートが上手く決まって3番手になって、前に出れば勝てると思うほどクルマは良いフィーリングでした。前に近づけばダウンフォースが抜けるのでなかなか前に行けなかったですが、後ろに付いていても余りない感じがするほど調子が良かったです、セーフティカーも入ってしまいましたが…。前回の菅生でダメだったウォームアップも課題として取り組んで、今回とても速くなっていて、ピットに入るのもそのままレースを引っ張るのもクルマのペースが良くどちらも自信がありました。ピットを選択しピットに入りピットアウトして行ったら、1コーナーを通過する頃から挙動がおかしくなり、立ち上がって加速をしたらますますおかしくなったので、第一ヘアピンでクルマを止めました。タイヤの状況から原因は調査しないとわかりませんが、調子が良いレースだったのもうまいかったです。ドライのレースで速さが出て来ていることは、とてもポジティブに捉えています。このオートポリスでの寒い時間帯に良いセットも見つけれ、残りのレースにも活かせると思いますので、有効ポイント制で2レース落とし厳しくはなりませんが、自分が出せる仕事、残りのレースを全部勝つつもりで頑張ります」



立川 祐路 チーム監督

次戦 鈴鹿で全てを取り戻す

To be Continued...

石浦は昨日からクルマが満足いくような仕上がりになっていないで、今日の予選も若干改善をしたものの苦しい展開になってしまいました。決勝のスタートも、集団の中の難しい位置からのスタートとなりポジションダウンしてしまいました。ペース的にも辛い部分もあり、またピット作業でもロスがありと、レースウィークを通してうまく行かなかったです。坪井は予選も調子良かったし、Q3までしっかりと合わせてくれて、良いポジションからレースをスタートしました。スタートでポジションアップして、予定していた早めのピットストップも予定通りに進めることが出来ました。クルマの調子も良く、優勝を狙える位置でレースをしていたと思います。しかし、肝心のピット作業で問題が出てしまい、リタイアせざるを得ないことになり坪井には非常に申し訳なかったと思います。失ったものが大変大きかったですね。それを取り戻すため、次の鈴鹿は頑張っていきたいです」

Results #38 石浦 宏明 予選 10位 決勝 13位 #39 坪井 翔 予選 4位 決勝 リタイア

勝利目前のロス。次戦、チームを立て直し総力で挑む

坪井は優勝も見えていただけに、石浦は追いつけていただけに、ピットでのロスは残念な結果。残り3レースを、コース上での戦いに水を差さぬよう、チームを立て直して臨みたい。

NEXT RACE Round 5 & Round 6 鈴鹿サーキット 12.5sat/6sun